



特集 加速する「おおえ創生」
～平成29年度 所信と主要施策～

大江町型住宅の新しいカタチ

塩野平地内に新しく建築された新規就農者用住宅の内覧会が、4月1日と2日の2日間にわたって開かれました。今回建てられた住宅の特徴は、何といてもこの屋根の形。冬でも雪下ろしの必要がないように工夫されたデザインは、内外からの注目の的になりそうです。



平成29年

4

No. 674

所信表明

夏にも雪を残す朝日岳の秀峰は、雨と雪を表でもてなしながら、内でこし取るように温め抱えて、月布川の源泉を生み出し続け、平成29年の早春もまぶしいほどに輝いています。新しい年度には、「地方創生」の加速から次代につなぐ、慎重ながらも大胆な施策が求められています。地方の「まち・ひと・しごと」が持つ潜在的な力を地方振興の要に据え、究極的には「自立した自治体の確立」を目指す具体的な施策です。

本町の現況が背負う諸課題は、未来に向けて「もう要らないから無くす」のか、「まだ使えそうなので直す」のか、「新しいものとして創る」のかなど、「今までの大江町で良いのか」を町民一人ひとりに問う大きく重いものがあり、施策執行の説明責任が強く求められています。

大江町がなぜ、県内でたった1カ所、「重要な文化的景観の町」に認定されたのか。県内の多くで花火大会を取りやめているなか、「水郷大江花火大会」が今も続いているのはなぜか。年間数万人の登山家を招く「朝日連峰」の魅力は何であろうか。最上川のほとりの「テルメ柏陵健康温泉

館」と月布川の瀬音が聞こえる「柳川温泉」の好評の理由は何であるか。都会生活から田舎生活に移る場所として、928ある全国町村のなかから「大江町」を選ぶ理由は何であったか……。伝統を重んじながらも時の流れを見極め、次代につなぐ努力を重ねた先人の「偉業」ともいえる軌跡には、実に誇らしいものがあったからではないか。そして何よりも、町民が暮らしの中で「付かず離れずの寄り添い」の心で「明るく広がり、強くつながる」大江町のおおらかさをまだまだ健在させているからであり、県内35市町村のなかで「人口の社会増」を果たした4市町の1つであるからです。だからこそ、この町は課題を克服できると信じ、今やれること、時間をかけて着実に進めること、できるように仕組みをつくることなど、町民の総意をくみ取って、安定した施策の実行を基本にした行政を進めることが大切です。

文字どおり「無い袖は振れない」のですが、ここ数年で町民ご協働のもと幾ばくかの「短い袖」ができてあがっています。時限を明示した「地方創生」の施策と、「まち・ひと・しごと」の基礎体力の強化を図ってまいります。農林業の継続支援、担

町民とともに 夢を語り合い 希望を叶えたい

大江町長 渡邊兵吾



加速する 「おおえ創生」

～平成29年度 所信と主要施策～

平成29年度の予算などを審議する第1回大江町議会定例会が、3月8日から17日までの会期で開かれました。

「大江町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されて3年目となる今年度。「地方創生」を実現するための施策のさらなる充実に向け、渡邊町長が町政運営に関する所信を述べましたのでお伝えします。

い手支援、商店街賑わい支援、中央公民館をはじめとした公共施設利用料の一部無料の継続、新しい産業の起業への支援、地域の暮らしを支えるコミュニティ空間支援、児童生徒への「ふるさと大好き」応援、子育て支援、健康寿命長期化支援、生活道路整備支援など、総力を結集して取り組んでまいります。

月布川に架かる6橋が完成すれば、大江町の幹線「主要地方道大江西川線」は、田ノ沢と大井沢トンネル間を残して完成の半ばに近づきます。今年度には、すでに完成した2つの橋に加えて3番目の橋に桁が架かり、4番目にも着手する予定です。5番目、6番目も完成に向けた事業化が順調に進んでいます。未着工の田ノ沢から大井沢トンネル間の完成を目指した具体的な動きを、大江・西川両町民の総意として大きな形が見えるようにしたいものです。夢なかりせば、物語なかりせば、人の動きは出てくるはずがない。次代を担う若い方々に「夢」と「希望」を与え続けたいものです。

本町の財政状況は、平成27年度決算における経常収支比率や実質公債比率などの財政指標が県内35市町村で「概ね中上位」に位置しており、

改善傾向にあるものの、歳入に占める地方交付税の割合が38・4パーセントと、依存度の高い財政基盤の構造は変わらないため、引き続き経常経費の抑制などを念頭に置いた町政運営が必要です。

町の財政に影響の大きい地方交付税は、今後も厳しい状況が続くと考えなければならぬ一方で、歳出面は、近年公債費（長期資金借入の返済額）が減少してきましたが、中央公民館改築事業や、統合保育園整備事業などの大規模事業の実施、社会保障関係経費の増加、公共施設などの経年劣化による修繕費用の増大、各特別会計が一般会計からの繰出金なしでは運営が成り立たない状況などを考えれば、経費抑制による財源の捻出には限界があります。

このため、地方創生に係る交付金などの特定財源を確保するとともに、ふるさとまちづくり寄付金の活用、財政調整基金への積立と特定目的基金の充実を図りながら、これらの財源を有効に活用し財政負担の平準化を図ります。

今後とも中長期を見据えた慎重かつ計画的な町政運営に努めるとともに、町民の思いを第一に考えた施策を展開してまいります。

総合戦略の前進と 町の将来像の実現に向けて

section 1

まちづくり関連

地方創生推進の活動を支援

◎定住人口対策・空き家利活用

定住人口対策については、昨年度に造成した藤田地区住宅団地の21区画のうち17区画が分譲され、若い世代の定住が促進されました。今後も早期の完売に努めていきます。また、新たな住宅団地の造成に向けて整備箇所などの検討を進めます。

空き家の利活用対策では、リフォームに対する支援を拡充し空き家の利用をより一層推進します。加えて、移住・交流を促すため、町の魅力を

全国に発信する動画を作成します。

◎地域おこし活動支援

「大江町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を町民主体で推進するため、「未来へつなぐ元気活動支援事業」により、町民が企画する地域課題の解決や地域おこし活動など、多彩な取り組みを支援します。

集落活性化支援交付金については、これまでの取り組みに加え地域づくり計画の策定や推進に対しても支援します。

◎公共交通・まちづくり事業

交通弱者などへの公共交通対策である町営バスについては、新たにワゴン車を導入し、使いやすさの向上と経費の節減を図ります。

また、デマンドタクシーについては、運行エリアに小見、月が丘、市の沢を追加し、さらなる利便性向上につなげます。

旧きらやか銀行大江支店を核としたまちづくり事業については、改修工事に着手し、年度内の完成と平成30年度のオープンを目指します。また、社会実験を通して運営計画の磨きあげをおこない、施設を安定的に

運営するための体制づくりを支援します。

高齢者や障害者などが利用しやすい役場の環境づくりのため、町民の要望が多い役場庁舎のエレベーター設置工事を実施します。

◎ふるさと納税

ふるさとまちづくり寄付金については、平成28年度は返礼品の拡充により、前年度と比較して約4倍に伸びています。魅力ある町内特産品のブランド化により返礼品のさらなる充実を図りながら、全国に発信して町内の経済波及効果につながるよう積極的に取り組んでいきます。

農林業関連

担い手育成・新品種普及と生産拡大

◎農地利用・担い手支援

本町では依然として高齢化などによる農業者の減少が続き、水田の耕作放棄地の増大が懸念されています。これらについては、昨年新たに設けられた農地利用最適化推進委員により、農地集約・集積を進めます。

就農研修生受入協議会「OSINの会」活動とも連携し、新たに農業を志す若者を積極的に受け入れるため、農業次世代人材投資事業費補助金などを活用して支援をおこないます。また、県外などからの新規就農を支援するため、三郷地区に新たな共同作業所や農機具バンクなどを設置し、独立して営農し定住しやすい環境を整備します。

◎果樹農業・やまがた地鶏

本町では高品質でおいしい果物をはじめとした農産物を生産しており、所得のより一層の向上を目指し生産者、JAなどと連携した取り組みを進めます。特に近年力を入れていくスモモについては、新品種の光季^{ひかり}などの生産拡大、スモモ狩り体験ツアーなどの開催による知名度アップと交流人口拡大を図ります。

新たな特産品として取り組んでいる「やまがた地鶏」については、県

やまがた地鶏振興協議会、飼養者などと連携しヒナの供給体制を確立するほか、大江ブランドとしての定着と販路拡大を目指します。

◎水田農業・農業生産基盤

水田農業については、農業経営の安定のために経営体の法人化のほか、加工品の生産・販売などの6次産業化などへの広がりを見すえ、農業所得の向上、後継者育成につなげていきます。

農業生産基盤については、今後の営農のあり方やそれに伴う農地の集約化、水田畑地化などの検討を進めます。幹線用水路やため池などについては、決壊などによる農地および家屋などへの被害防止と、安定的な用水の確保のため、県営農村地域防災減災事業として大江中部地区と大江三郷地区の整備を、県と一体になり進めていきます。

◎林業・山菜・地籍調査

林業では、林家の所得向上と関連産業の振興を目的に設立された西山杉利活用推進コンソーシアムの活動

まちづくり



未来へつなぐ元気活動支援補助
563万円

地域の課題解決や地域おこし活動への取り組みのほか、町が設定したテーマに沿った町民の創意工夫ある活動に対して補助します。



庁舎エレベーター整備
8,180万円

高齢の方や障害のある方などが利用しやすい環境を整備するため、役場庁舎にエレベーターを設置します。

<主な事業>

事業名	事業費	事業名	事業費
定住促進対策事業	461万円	集落活性化支援交付金	1,000万円
地域公共交通運行事業	3,012万円	ふるさとまちづくり寄附促進事業	4,033万円
地域おこし協力隊活動事業	1,443万円	地域除雪活動支援事業	75万円

を通して、住宅用材に利用される優良な町産西山杉の天然乾燥材の生産・販売を、林家、林業事業体、製材所などが協力しておこなう仕組みづくりを図っていきます。林道については、県代行林道開設工事として平成28年度に採択された沢口道海線の早期完成を目指して事業を進めます。

特用林産物の生産と販売促進については、栽培技術の向上や新たな山

商工労働・観光関連

◎雇用・商業活性化対策

企業への補助制度を継続し雇用の拡大に努めるほか、人口減少対策、定住促進対策として若者の雇用の場を確保する必要があることから、藤田地区に新たな工業団地を整備し企業立地を推進していきます。

商業に関しては、町内での消費活動が減少するなか、現状を分析し明るい将来を描く家業経営を目指す必要があります。家業における新たな取り組みをはじめ、起業や新商品開発などへの補助事業を継続するほか、特産品づくりと大江ブランドを推進する取り組みを支援します。

業料理、山菜の魅力などについて普及促進を図り、豊富な森林資源による新ビジネス創出と産業活性化を推進します。

地籍調査については、平成28年度末の現地調査の進捗率が96・87%となり、残り3・40平方キロメートルとなっております。今年度で林地調査を終了するために、大字沢口、大字柳川および古寺地内の大字貫見の現地調査を進めます。

雇用拡大へ向けて企業誘致

◎観光振興

観光には、町のイメージを形づくり、人を呼び込み、町を活気付ける大きな役割と、町内における経済的波及効果が期待されます。本町では90年以上の歴史を誇る「水郷大江夏まつり大会」をはじめ、「正調最上川舟唄全国大会」や「秋まつり」、「柳川温泉雪まつり」、「ひなまつり」など年間を通して数多くのイベントを実施しています。また、今年度は5年ぶりとなる「神通峡まつり」の復活などもあることから、観光物産協会などの町内関係団体と連携し、本町へのさらなる誘客拡大と観光産業の

農業・林業



新規就農者を支援 3,274万円

町内での新規就農者とその支援組織に対する助成のほか、住居支援及び林業振興として西山杉を活用した大江町型住宅を整備します。



スモモ・リンゴづくりを支援 120万円

日本一のスモモの里づくりを目指した生産拡大への支援と、リンゴの奨励品種への更新を推進します。

<主な事業>

事業名	事業費	事業名	事業費
農村地域防災減災事業	1,368万円	農業次世代人材投資事業	1,824万円
農地利用調整事業	436万円	鳥獣被害対策事業	130万円
林道整備事業	1,006万円	やまがた地鶏振興事業	700万円

section 4

道路・住宅・水道関連

◎道路整備・住宅施策

活性化に努めます。
また、「重要文化的景観のまち」にこだわりを持ちながら、JR東日本や仙台圏の旅行会社との連携によ

り、左沢のまち歩き観光や農業体験などを組み合わせた新たなツアーの企画など、本町ならではの着地型観光を積極的に推進していきます。

幹線・生活道路整備を加速

メートルの測量設計をおこなって、早期の完成を目指します。

主要地方道大江西川線は、本町の道路交通網の要であり最優先の課題です。貫見く沢口間に6つ計画されている橋梁のうち、昨年末に2橋が完成し供用が開始されました。平成29年度は3号橋「琴ノ沢橋」の上部工および4号橋「巻淵橋」の下部工、地すべり対策に関連する月布川の付替え工事が予定されています。

また、身近な生活道路である町道の整備と維持管理に万全を期すとともに、冬期除排雪についても充実を図っていきます。さらに、橋梁の維持修繕についても柳川地内「青柳橋」の塗替え工事、現在通行止めとしていた貫見地内「陣の橋」の更新工事を実施します。

「大江・西川両町道路整備促進期成同盟会」を母体とし、貫見く沢口間の早期完成はもちろん、田ノ沢く大井沢トンネル間の早期着手に向け、国と県に対してさらに要望していきます。

住宅施策については、公営住宅の需要の高まりを受け、新たな公営住宅の建設のための用地の選定と測量調査を実施します。

今後のまちづくりのための重要な路線として整備を進めている町道藤田堂屋敷線は、町営西原住宅から町道左沢小見線との交差点までの283メートルの工事に着手し、町道諏訪堂中山線交差点までの460

平成28年度末の公共ますへの接続率は、公共下水道事業が70.5%、農業集落排水事業においては79.3%となる見込みであり、今後も接続率の向上と適切な維持管理に努めます。

合併処理浄化槽は、平成28年度末まで631基を補助対象事業として

道路・住宅など



生活の道を着実に
2億929万円

重要な路線に位置付けている町道藤田堂屋敷線は、平成29年度に第2工区工事に着手するとともに、身近な生活道路の整備と維持管理に万全を期していきます。

<主な事業>

事業名	事業費
住環境整備事業	853万円
合併浄化槽設置事業	1,086万円
橋梁維持補修事業	5,855万円

商工労働・観光



藤田に新たな工業団地
2億6,500万円

人口減少対策や定住促進対策として、若者の雇用の場を確保するため、藤田地区に新たな工業団地を整備し、企業誘致を推進します。

<主な事業>

事業名	事業費
古寺案内センター整備事業	2,017万円
商売繁盛創出支援事業	150万円
フルーツライン左沢線活用事業	700万円

福祉・子育て・医療関連

保育所統合・高齢者支援を充実

整備しました。今後も補助制度をさらにPRし、広く加入の推進に努めていきます。

◎水道事業

水道事業については、少子高齢化などに伴う給水人口の減少や施設の老朽化などによって厳しい状況にあります。経営の健全化とともに良

質で安定した水道水の供給に努めます。平成29年度は、村山広域水道からの受水費改定を受け、町の水道料金改定について検討を進めるほか、貫見配水池の耐震化工事や、藤田工業団地の拡張および町道藤田堂屋敷線道路改良工事に伴う配水管の新設、敷設替工事などを実施します。

◎高齢者福祉・介護保険

本町の高齢化率は、35・9%となつていきます。ひとり暮らし高齢者のための緊急通報体制整備事業を継続し、見守り付き配食サービス事業を週2回に拡大するなど、高齢者等訪問事業と合わせ、民生委員・児童委員をはじめ、地域の方々の協力のもと日常的な見守りを進めていきます。また、障害者の生活介護、就労支援をはじめとする障害福祉サービスおよび地域生活支援事業サービスを継続します。

介護保険事業については、増加の一途をたどってきた給付費が、近年は減少・横ばいの傾向にあります。こうした状況に対応しながら、平成30年度を初年度とする第7期介護保

険事業計画を策定します。また、高齢者が要介護状態にならず健康で生きがいのある日常生活を送れるよう、一般介護予防事業の内容を充実させていきます。

◎保育・子育て支援

保育事業については、平成30年の町立保育園統合に向けて、わかば保育園の増築工事を完了させるとともに、屋外の広場や駐車場の整備工事をおこない、町の子育ての拠点施設づくりを進めます。運営に関しては町が中心となって新たな社会福祉法人を立ち上げ、指定管理委託による運営をおこなう方向で検討していきます。

4月から新たに本郷東放課後児童クラブを開所しました。これにより、

福祉・子育て・医療など



高齢者の暮らしを支える
794万円

高齢者が安心して地域で過ごせるように、在宅訪問や週2回の配食サービスをはじめ、雪下ろしや玄関除雪などの支援をおこないます。



町立保育所を拡充整備
4億3,358万円

平成30年度の町立保育園統合に向けて、子育て支援センターを併設するわかば保育園の完成と屋外広場の整備をおこない、子育ての拠点施設づくりを進めます。

<主な事業>

事業名	事業費	事業名	事業費
子育て支援医療費	2,848万円	民生児童委員活動交付金	382万円
子育て支援事業	954万円	放課後児童健全育成事業	1,832万円
障害者福祉事業	1億7,032万円	健康増進事業	1,971万円

section 6

教育関連

保護者の負担軽減・生涯学習推進

◎教育の振興

「共に学び合い 高め合い 生かし合う 心豊かな人づくり」を基本理念とした第2次大江町教育振興計画の3年目となります。それぞれの年代がより充実した人生を実現するために、町の良さを生かして、新しい時代を生き抜くための豊かな人間

◎学校教育

本町独自の特色ある教育として、本町の良さや歴史を知り、ふるさとを愛し、ふるさとを想う児童生徒の育成に向け取り組んでいきます。国際理解教育の一環として4年目

2つの小学校区で全学年を対象として放課後児童健全育成事業が実施できることになり、保護者のニーズに合わせた運営をおこなっていきます。

◎健康づくり・医療
各種健康診査については、健診項目に新たに胃がんリスク評価を加えて実施します。合わせて、健康相談、生活習慣病予防教室などを実施しながら「自分の健康は自分で守る」という意識づくりを進めます。

生活習慣病予防として、温泉効能による健康増進のために実施してきた「さわやか健康づくり推進事業」については、限られた財源活用の観点から、平成29年度は補助率をこれまでの2分の1から3分の1に見直しを継続します。

福祉医療では、重度心身障害(児)者、ひとり親家庭などの医療費の自己負担分を、これまで同様県と町が2分の1ずつ補助します。また、山形県医療給付制度とあわせ、制度の対象とならない小学4年生から中学3年生までの外来にかかる医療費などの自己負担分を町が補助し、中学3年生までの医療費の無料化を継続します。

国民健康保険は、今後も被保険者資格適用の適正化や被保険者の健康づくりを進め、国保財政の健全な運営をおこないます。また、平成30年度から国民健康保険の財政運営の責任主体が県に移管することになりますので、スムーズに移管できるよう努めます。

教育振興



児童生徒の教育活動推進
2,177万円

アメリカ・モンタナ州からグアムに活動の場を移す中学生海外派遣事業のほか、本格化する英語学習に備えた外国語指導助手の配置など、児童生徒の学習活動を推進します。



小6・中3の給食費を支援
685万円

中学校や高等学校などへの進学時などにおける保護者の経済的負担を軽減するため、小学校6年生と中学校3年生の給食費を町が全額負担します。

<主な事業>

事業名	事業費	事業名	事業費
文化的景観保護推進事業	5,253万円	左沢楯山城保存整備事業	1,621万円
自治公民館整備事業	615万円	左沢高等学校支援事業	120万円
図書館運営事業	815万円	体育施設等整備事業	2,484万円

を迎える中学生海外派遣事業は、渡航に要する日数や研修内容を考慮して、行先をアメリカ合衆国モンタナ州からグアムに変更し、研修期間を中学校の夏休みから春休みに変更して実施します。また、これまで生徒が任意で受検していた英語検定試験を中学3年生全員が受検することとし、英語学習を充実させます。

子育て支援として、進学時などの経済的負担の軽減のため、小学6年生と中学3年生全員の給食費を全額町が負担します。無償化は、地方創生の期間に合わせ3年間の予定です。また、地産地消と食育の充実を図る観点から、左沢高校で栽培された農作物を学校給食に取り入れます。

中学校の部活動での練習試合など、町外への送迎を一部スクールバスでおこなうことで、保護者の負担を軽減します。

社会の出来事に関心を持ち、物事を深く見詰め考えるために、新聞を活用した教育を中学校に導入します。

◎社会教育

生涯学習の拠点として中央公民館「ぷくらす」が昨年7月にオープンし、多くの町民に利用していただいています。これを契機に「学び・語り・遊び」のテーマのもと、心

豊かな人生を送るための学びと仲間づくりの場として、おおえ町民大学「ぷくらすカレッジ」を新たに開校します。

◎芸術・歴史文化関連

芸術文化の創造と、趣味を通じた交流の場としての「あじさい手づくり工芸まつり」や「文化祭」、そして「音の文化祭 ひなまつりコンサート」を芸術文化団体と連携しながら開催し、サークル活動などの育成支援に努めていきます。

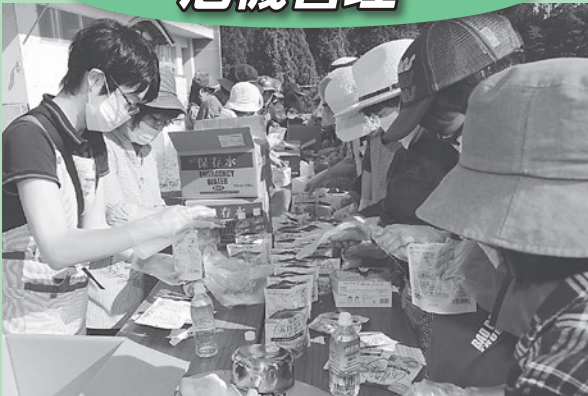
国選定重要文化的景観については、ワークショップや絵画コンクール、絵地図の作成に取り組み、普及と活用を努めるほか、重要な構成要素である家屋の保存補修工事を進め、最上川舟運がもたらした文化の薫る町並みの保存を図ります。

左沢楯山城跡については、公園北側の八幡座地区周辺の樹木伐採をおこない公園から八幡座の眺望を確保、散策路や案内看板整備の実施設計と合わせ、整備に向けた発掘調査を実施します。

◎体育振興

体育振興では、各種スポーツ大会や総合型地域スポーツクラブ「OISTEP」でのスポーツ教室の開催など、スポーツを楽しめる環境づく

危機管理



もしもの備えを日頃から 990万円

災害に備えた生活用品や食料品などの備蓄をおこなうほか、平成29年度は指定避難所である本郷東小学校に防災備蓄倉庫を新たに整備し、有事に備えた体制づくりを進めます。

<主な事業>

事業名	事業費
消防施設整備事業	727万円
交通安全対策事業	546万円

教育振興



ぷくらすカレッジ (生涯学習) 862万円

学びの場、仲間づくりの場の中心となるおおえ町民大学「ぷくらすカレッジ」の開校を契機に、町民の多様なニーズに応える生涯学習活動を推進していきます。

<主な事業>

事業名	事業費
幼稚園関係助成事業	826万円
小中学校教育振興事業	1,346万円
体育振興事業	589万円

section 7

危機管理関連

防災行政無線活用で備えを万全に

りを進め、健康と元気をつくる生涯スポーツを展開します。
また、陸上競技などの全国大会で輝かしい成績を収める町内のアスリ

ートが増えていきます。関係団体と連携して選手育成を図り、出場する選手を応援し競技スポーツの育成をおこないます。

◎防災行政無線・消防団

危機管理の最優先課題として取り組んできた防災行政無線は4月から運用を開始し、町民に正確な情報を迅速に伝達する体制を整えて、地震、火災、水害、国民保護事案など万が一に備えるとともに有効に活用していきます。

地域の安全・安心のため、災害対応のみならず活動している消防団については、団員の確保が喫緊の課題となっています。そのようななか、女性消防団員の活動が昨年スタートし、新たな力として活躍しています。今後は機能別消防団員などの全国的な事例を参考とし、団員確保の取り組みを進めます。

また、災害現場などでの団員の安全確保のための装備や設備を充実させ、消防力の強化を図ります。また、消防庁から町に対し救助資機材搭載型消防ポンプ自動車1台が無償で貸

与されることから、地域防災力の一層の強化に生かしていきます。

◎災害対策

平成25年、26年度と連続して起こった町内の豪雨災害の復旧工事も、ほぼ完了しました。水害の記憶や教訓が少しずつ忘れ去られようとしています。今こそ記憶にとどめ、災害に備える心を持ち続けることが重要です。

今年、本町に過去最大級の災害をもたらした「羽越水害」から50年の節目の年になることから、国土交通省と協力して6月中旬に「巡回パネル展」を開催し、羽越水害の記憶を振り返るとともに、災害に備える気持ちを醸成するための取り組みを進めます。

また、災害に備えて生活用品や食料品などの備蓄をおこなうほか、指定避難所への備蓄倉庫の整備を順次進めていきます。

4・1 防災行政無線運用始まる



テープカットで開局を祝う出席者

防災行政無線の開局式が4月1日に役場総務課でおこなわれ、渡邊町長のあいさつが第一声として正午に放送されました。

今後は各種防災情報のほか、毎日17時に試験放送を兼ねてメロディが放送されます。



渡邊町長の操作により、運用が開始されました

平成29年度 一般会計当初予算

50億1,000万円

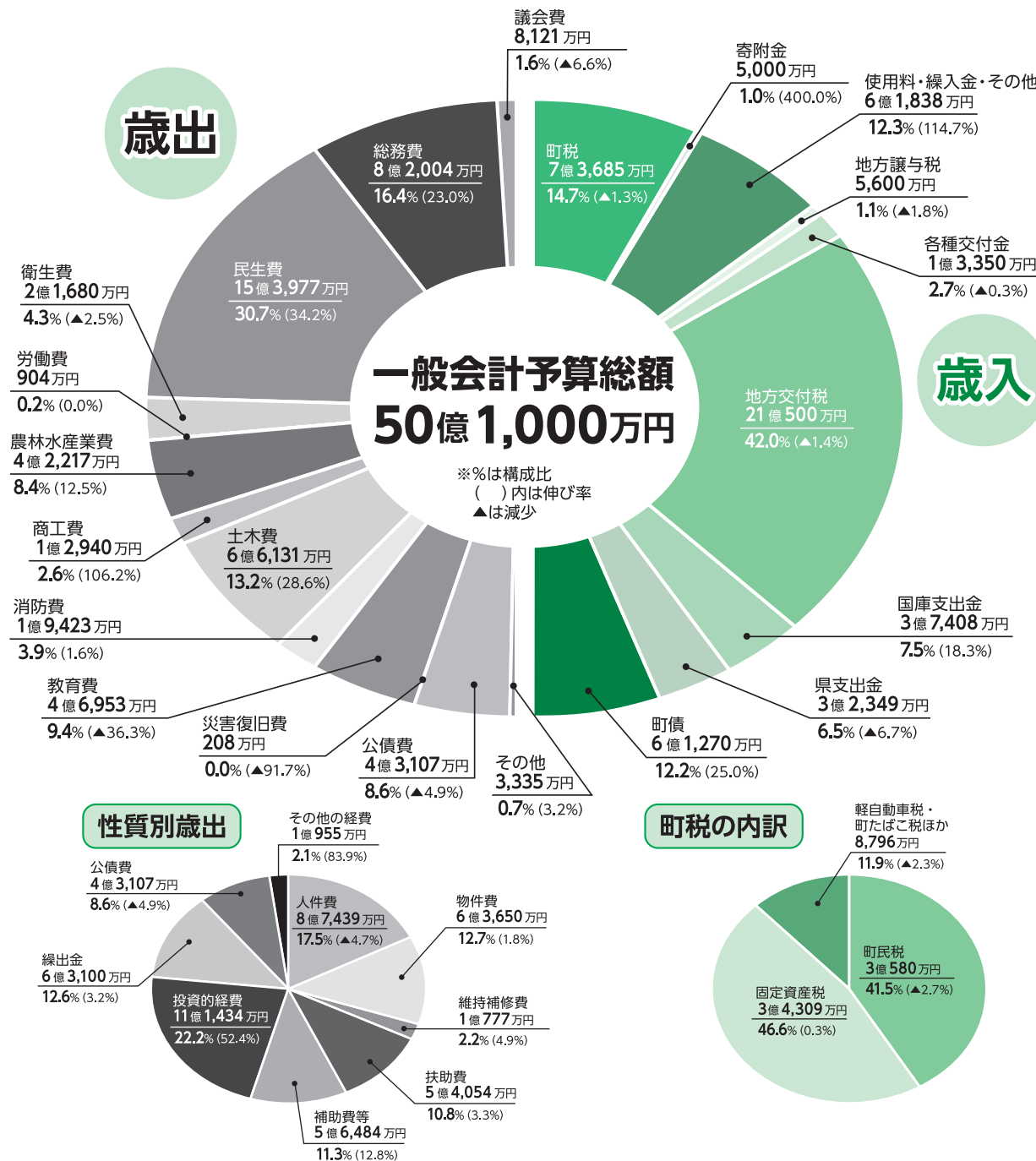
子育て・教育立町を目指したまちづくり

平成29年度当初予算が、3月の町議会定例会で可決されました。一般会計の総額は50億1,000万円で、前年度当初予算額と比較すると10.7%の増となりました。

歳出面での特徴は、前年度が町長選挙の影響で骨格予算となったこともあり、前年度と比較して、わかば保育園整備事業や役場庁舎エレベーター整備事業などの投資的経費が大きく増加。ふるさと納税の伸びと合わせ補助費なども増加しています。一方、公債費については町債の償還終了などにより減少となっています。

歳入面では、投資的経費などに係る国庫支出金の増加とともに、わかば保育園整備事業などへの基金充当を見込んだため、繰入金が増加しています。

特別会計を含む各会計の予算概要を紹介します。(予算は千円単位ですが、四捨五入により万円単位としています)



◆特別会計・事業会計

	歳 入		歳 出			歳 入		歳 出	
国民健康保険	国民健康保険税	1億5,681万円	保険給付費	5億4,784万円	公共下水道事業	分担金・負担金	124万円	施設費	4,141万円
	国 県 支 出 金	2億4,056万円	後期高齢者支援金等	1億402万円		使用料・手数料	5,320万円	下水道建設費	2,061万円
	療養給付費等交付金	2,095万円	介護納付金	3,857万円		国庫支出金	330万円	公債費	1億7,162万円
	前期高齢者交付金	1億7,370万円	共同事業拠出金	2億1,533万円		繰入金	1億6,716万円	総務費	496万円
	共同事業交付金	2億739万円	保健事業費	1,236万円		その他	1,420万円	予備費	50万円
	その他	1億7,459万円	その他	5,588万円		合 計	2億3,910万円	合 計	2億3,910万円
合 計	9億7,400万円	合 計	9億7,400万円	農業集落排水事業	使用料・手数料	600万円	施設費	1,435万円	
後期高齢者医療	保険料	6,333万円	広域連合納付金		9,817万円	繰入金	3,689万円	公債費	2,122万円
	繰入金	3,604万円	総務費		121万円	その他	1万円	総務費・予備費	733万円
	その他	63万円	諸支出金・予備費	62万円	合 計	4,290万円	合 計	4,290万円	
	合 計	1億円	合 計	1億円	水道事業	営業収益	2億3,086万円	営業費用	2億3,785万円
介護保険	保険料	2億1,607万円	保険給付費	10億1,492万円		営業外収益	2,304万円	その他	1,605万円
	国 県 支 出 金	4億3,095万円	地域支援事業費	4,524万円		合 計	2億5,390万円	合 計	2億5,390万円
	支払基金交付金	2億8,936万円	総務費	4,588万円		企業債	4,500万円	建設改良費	9,183万円
	繰入金	1億6,783万円	その他	56万円		国庫支出金	1,125万円	企業債償還金	3,319万円
	その他	239万円	合 計	11億660万円		負担金	300万円	その他資本的支出・予備費	147万円
合 計	11億660万円	合 計	11億660万円	合 計	5,925万円	合 計	1億2,649万円		
宅地造成事業	財産収入	2億4,343万円	宅地造成費	2億7,605万円					
	繰越金・諸収入	3,267万円	基金積立金・予備費	5万円					
	合 計	2億7,610万円	合 計	2億7,610万円					

議会

town council

3月定例会

平成29年度大江町議会第1回定例会が3月8日から17日までの会期で開かれました。今定例会では、平成29年度当初予算や今年度の各会計の補正予算、条例改正案などが審議され、原案どおり可決・承認されました。冒頭に渡邊町長から行政報告がありましたので紹介します。

行政報告

藤田工業団地の整備について

昨年12月末に測量設計などの業務委託をおこない、新たな藤田工業団地整備事業を進めています。工事にあたっては、農業用水路の付け替え、町道中山西原線の一部変更、工場排水や雨水の排水路整備なども合わせておこなう予定です。

8月の造成工事開始を目指し、12月末までに工事を完了して分譲できるように取り組んでいきます。

上下水道事業経営戦略策定について

本町の上下水道の向こう10年間に於ける経営の見通しと、維持管理を含めた投資計画を中心に、このたび経営戦略を策定しました。

この経営戦略は、本町における水道事業・公共下水道事業・農業集落排水事業について、将来の事業環境や投資・財政計画、類似団体との経営状況の比較・分析などをおこなったもので、安定的なサービス提供のための経営指針となるものです。この戦略策定を機に、施設の適正な維持管理の徹底と、より一層の経営健全化に努めていきます。

人事案件

人権擁護委員の任期満了に伴い、次期委員として現任の堀永敏氏（富沢）を再度推薦すること、大沼道子氏（13区）を新たに推薦することについて同意されました。任期は7月1日からの3年間となります。

補正予算

平成29年度大江町一般会計の補正予算については、歳入歳出にそれぞれ6510万円を追加し、補正後の予算総額は56億9350万円となりました。



▲隊員の1年間の活動内容に、多くの方が耳を傾けました



▲今年度新たに地域おこし活動に携わる村中亮竜さん

1 ■活動の軌跡を振り返りさらなる活性化へ ～地域おこし協力隊活動報告会・新隊員委嘱～

平成28年度の地域おこし協力隊活動報告会が、3月16日に中央公民館でおこなわれ、本町で活動した4人の地域おこし協力隊員が1年間の活動内容をスライドや動画を交えて発表しました。青芋などの町の伝統文化の普及に取り組んだ高橋里奈さん、農業を通じた地域活性化に励んできた秋山雛菜さんは、3月31日で本町の地域おこし協力隊員としての活動を終了。これまでの活動の中で感じた思いなどを語りました。

会場には地域住民の皆さんのほか、他市町村で活動する地域おこし協力隊員など、約40の方が来場。各隊員の活動報告に熱心に聞き入っていました。

4月3日には、今年度から本町の地域おこし協力隊員となる村中亮竜さんと、継続して活動する佐々木隆馬さん、野木桃子さんの3人に、渡邊町長から委嘱状が手渡されました。村中さんは大阪府出身で、山里交流館「やまさあーべ」と貫見地区を中心に活動する予定です。「皆さんにいろいろ教えていただきながら、早く地域に溶け込めるようがんばります」と意気込みを語りました。

大江町に来て1年、あっという間ではありましたが、とても濃い1年でした。この町に来てからたくさんのことを学び、私の考え方も変わりました。

ここでの経験は私にとって宝であり、これからの人生の糧として大事にしていきたいと思います。たくさん迷惑をかけてしまいましたが、1年間本当にありがとうございました。

平成28年度で退任した 地域おこし協力隊員より



秋山 雛菜さん



高橋 里奈さん

2月に結婚したことに伴い、3月末で大江町の地域おこし協力隊を辞め、東京に住むことになりました。右も左もわからない私を本当の娘・孫のように見守り育てていただき、本当にありがとうございました。

大江町とご縁をいただいて8年。東京に越したらまた大江町との新しい関係づくりをさせてください。これからもよろしくお願いします。

2 ■心に残る景観を絵筆で表現 ～重要文化的景観絵画コンクール～

平成28年度文化的景観絵画コンクールの表彰式が、3月26日に中央公民館で開かれました。今回は小学校5年生から中学校3年生まで128点の応募があり、最優秀賞5点が選ばれました。

《最優秀賞受賞者》 ※敬称略

- ★小学校5年生の部 伏貫珠生（本郷東小学校）
- ★小学校6年生の部 新宮 雛（左沢小学校）
- ★中学校1年生の部 鈴木舞乃（大江中学校）
- ★中学校2年生の部 安藤大和（大江中学校）
- ★中学校3年生の部 林 茜（大江中学校）



▲犬飼教育長から入賞者に表彰状と記念品が手渡されました

3/25~29 舟運が残したひな文化のお披露目

町の舟運文化の隆盛を今に伝える「大江のひなまつり」が、3月25日から29日までの5日間にわたって開催されました。期間中は金子家、清野家、岡田家、歴史民俗資料館の4会場のほか、お休み処錦庵や町内各地の商店でも自慢のひな人形がお披露目されました。

各会場では、古今雛などの貴重なひな人形のほか、最上川舟運によって京都などからもたらされた工芸品なども公開。来場者の1人は「これだけの貴重な品々を大切に保存されていて、素晴らしいですね」と、展示品に見入っていました。



▲土蔵の中で襖絵などの貴重な品が公開された清野家



▲舟運でもたらされた品々を今に伝える岡田家



▲竹田人形など歴史的工芸品の数々が残る金子家



3/19 音と声に通わせて

町内で音楽活動をおこなう団体などによる演奏会「音の文化祭 ひなまつりコンサート」が、3月19日にふれあい会館で開催されました。今年で12回目となるこのコンサートには、全部で14団体が出演。これまで練習してきた楽器演奏や自慢の歌声を、会場いっぱいに響かせていました。

恒例となった吹奏楽の合同演奏は、中学生から大人まで過去最多の75人による圧巻のサウンド。最後は合唱隊と中高生が、吹奏楽の伴奏で手話を交えながら「心の瞳」を歌いあげ、来場者と一体になった歌声で演奏会を締めくくりました。



3/29 市の賑わいの中で「逸品」紹介

3月恒例の左澤ひな市が、3月29日に中央通り商店街で開かれました。「大江のひなまつり」最終日でもあるこの日は、町内外からたくさんの人々が訪れ、通りに並んだ露店で食べ物や春の花々、新鮮な野菜などを買い求めていました。

また、町内の5つの商店が集まり「一店逸品運動」に取り組んでいる大江これけろ会（会長：庄司俊夫さん・7区）が、ひな市に合わせて「今年の逸品お披露目会」を開催。各商店の自慢の逸品を紹介・販売したほか、餅入りのおしるこが来場者に無料で振る舞われました。



3/9 正しい知識で薬の効果を最大限に

教育委員会が主催するシルバーカレッジ第4回学習講座が、3月9日に中央公民館で開かれました。この日は寒河江市在住の薬剤師・初鹿隼人さんが「薬についての基礎知識」をテーマに講演。薬の飲み合わせなどの注意点や貼り薬の効果的な貼り方など、日常的に服用する薬の正しい知識を実演を交えながら分かりやすく解説しました。

来年度のシルバーカレッジは、新たに開校するおおえ町民大学「ぶくらすカレッジ」の講座のひとつ「シルバー講座」として、生涯学習に役立つさまざまな講座を開講していく予定です。



3/12 昔話の面白さを語り継ぐ

昔話や民話の面白さを広く知ってもらうためのチャリティーイベント「おおえとんと昔のつどい」が、3月12日にふれあい会館で開催されました。このイベントはおおえ昔語りの会（会長：渡辺シカ子さん・12区）が主催しているもので、今年で5回目を迎えます。

イベントでは、昔語りの会のメンバーが地元で伝わる民話を軽妙な方言で紹介したほか、民話の舞台を再現した寸劇も披露。昔話の登場人物に扮したメンバーのユーモラスな演技に、会場内には絶えず笑い声が響いていました。



大江中学校卒業式

3/16・18 誇りを胸に新しい世界へ

卒業シーズンである3月、本町では16日に大江中学校、18日に左沢小学校と本郷東小学校で卒業式がおこなわれました。

このうち大江中学校では、73名の生徒が阿部進悦校長から卒業証書を手渡されました。卒業生代表の阿部悠太郎さん（蛍水）は、「一瞬一瞬が輝き、毎日が笑顔であふれていたこの3年間、ここにいる仲間たちと一緒に過ごせたことを誇りに思います」とあいさつ。同級生と心をつなげて最後の合唱を歌いあげ、卒業生たちは人生の新たなステージへと踏み出していきました。



3/22 雪の下に眠る山の恵み

大江町美しい森林づくり協議会の「^{もり}わらびのポット苗づくり実演研修会」が、3月22日に貫見地内で開催されました。この研修会は、良質な町産わらびの生産量増加を目的として、栽培技術を普及するために開かれたもので、山菜栽培に意欲のある農家の方など21人が参加しました。

参加者は、川崎崇一郎さん（貫見）の畑で土を掘り起こし、わらびの根を採取。その後、根から生えたわらびの芽をポットに植え、約750個のポット苗を作りました。苗は6月から7月に定植し、適切な生育環境の調査に役立てる予定です。

お知らせ

Information

大江町消防団春季消防演習

- ◆日時／4月23日(日)13時～
- ◆場所／左沢小学校グラウンドおよび左沢内町・横町通り
- ◆内容／消防操法、一斉放水、分列行進など

※当日は、左沢地区の交通規制があります。ご協力をお願いします。

- ☎ 総務課危機管理係 ☎(62)2187、または消防署大江分署 ☎(62)3120

生活支援コーディネーターを募集します

介護保険法改正により、各市町村に「生活支援・介護予防サービス」を推進する役割を持つ生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置が義務付けられました。居場所づくりなどの、高齢者に対する介護予防の支援や、高齢者を地域の皆さんで支える取り組みをおこなう業務をお手伝いしてくださる方を募集します。

◆業務内容／町でおこなう介護予防教室など地域包括支援センター業務全般への支援

◆応募資格／○健康で地域の方々と協力しながら地域を元気にするために行動できる方、○普通自動車運転免許を持つている方、○パソコンの一般的な操作ができる方

◆募集期間／4月17日(月)～28日(金)

◆勤務時間／4時間×週4回(応相談)

◆雇用期間／5月1日～平成30年3月31日(更新あり)

◆勤務場所／地域包括支援センター(健康福祉課内)

◆必要書類／履歴書(左記に直接お申し込みください)

☎ 地域包括支援センター(健康福祉課内) ☎(62)2114

ふれあい会館管理人を募集します

◆業務内容／夜間および休日などの管理業務

◆募集人員／1人(3月31日現在64歳以下の町内に在住する健康な方)

◆勤務形態・賃金／○夜間：17時～22時 5188円、○休日：8時半～17時15分 6433円

※休館日は勤務不要。条件により割増賃金加算あり

◆雇用期間／平成30年3月31日まで(予定)

◆申込期限／4月21日(金)

◆申込書類／①夜間および休日等管理人申込書(中央公民館に準備してあります)、②履歴書(市販のものを準備してください)

◆その他／応募多数のときは選考します。

☎ 中央公民館 ☎(62)3666

楽しく調理実習をしながら食生活を見直してみませんか

食を通して地域で健康づくりを推進していた、たく食生活改善推進員を養成しています。仲間とともに学び、身近なところから健康について考えてみませんか。男性の方、子育て中の方も大歓迎です。

◆対象／本町在住の方で食生活や健康づくりに興味のある方。性別、年齢は問いません。

※会場内で託児をおこないますので、お子さん連れでもご参加いただけます。次の日程のうち☆の講習会には託児がありませんが、親子で参加可能です。

◆日程／5月25日(木)開講式、5月29日(月)講話、☆6月9日(金)調理

実習、☆7月9日(日)調理実習、8月8日(火)講話と運動、10月4日(水)運動、10月27日(金)調理実習、12月5日(火)修了式

※2～3日間の受講で修了証を交付します。全日程出席の方には記念品を差し上げます。日程は変更になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

◆会場／大江町保健センターまたは中央公民館

◆参加費／無料

◆申込期限／5月15日(月)

☎ 健康福祉課保健衛生係 ☎(62)2114

山形県看護協会「健康まつり」開催のお知らせ

◆日時／5月13日(土)10時～15時

◆場所／山形県看護協会会館(山形市)

◆内容／測定・相談コーナー(血圧・体組成・血管年齢測定、アルコールパッチテスト、各種相談)、体験コーナー(ハンドマッサージ、乳がん自己検診・相談、高齢者・妊婦疑似体験、赤ちゃんふれあい体験、手洗いチェックカー)、白衣を着ての記念撮影、「看護への道」進路相談、ぬり絵コーナー、講話など

「さわやか健康づくり推進事業」 温泉入浴利用券の助成内容が変わります

このたび、温泉入浴利用券の助成内容を変更することになりました。5月分より、これまでの半額の助成から3分の1相当の定額の助成になることから、下記のとおり本人負担額が変わります。



入浴券種	入浴券区分	通常料金	本人負担額(円)		
			3月まで	4月	5月から
共通券	回数券(30回相当)	9,000	4,500	4,500	6,000
	半年券	30,000	15,000	19,200	20,000
柏陵荘	回数券(30回相当)	6,000	3,000	3,000	4,000
	半年券	20,000	10,000	12,800	13,400

※共通券は、健康温泉館、柳川温泉、柏陵荘すべての施設で使える入浴券です。

※4月の回数券は30回券のみ発行します。また、年360回の上限に満たない方でも複数回購入することはできません。

※半年券は、更新日が属する月になります。

今後も健康づくりのために多くのご利用をお願いします。

☎税務町民課国保医療係 ☎(62)2291

◆参加費／無料
 ④山形県看護協会 ☎023(685)8033
 朝日わくわく広場
 段ボールでピザを焼こう
 ◆期日／4月29日(土)
 ◆場所／朝日少年自然の家

◆内容／段ボール窯からピザまで、手作りで作ってみましょう。
 ◆対象／どなたでも(先着80名)
 ◆申込／4月22日までに、朝日少年自然の家へ電話またはFAX
 ◆参加費／700円
 ④朝日少年自然の家 ☎(62)4125、FAX(62)4126



善意いただきました

東北電力株式会社と株式会社ユアテックより、町へ街路灯5灯を寄付していただきました。

街路灯は町内各所に設置し、町民生活の安全性向上のために活用させていただきます。

編集 後記

「取材に來ないでくれ」と言われかねないので、次回はぜひとも満天の星空が見たいものです。
 (伊藤智治)

4月1日の「星空教室」で見られる予定だったのが、「アルデバラン食」という天文現象です。これは、地球から約65光年の位置にあるアルデバランが、三日月の暗い縁の部分に隠れて消えてしまうというものの。つまり、65年もかけてはるばる地球へやってきた星の光を、ほんの一時とはいえ通せんぼしてしまうという、お月さまの意地悪な一面を垣間見ることができるといわけです。ところがこの日、地球の表面を漂う分厚い雲は、お月さまのさらに上を行く意地の悪さで夜空全体をすっぽりと覆い隠してしまい、おかげでおうし座はおろか月の姿さえ見えなという残念な事態に。そのかわり、星空のスペシャリストの方々から天文現象について詳しく解説していただいたり、数年前のアルデバラン食の映像を見せていただいたりして、大変勉強になったのですが……私が行った時に限って悪天候、などということが続くことが続くと「取材に來ないでくれ」と言われかねないので、次回はぜひとも満天の星空が見たいものです。

メール配信サービスで町の情報をお届けしています。

ご登録はこちらから↓



思い出の No.18 まいぞうひん My藏品

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



▲愛用のDW社製ドラムセットを演奏する鈴木さん
◀ドラムの上部に金具を引っ掛け「宙ぶり」状態で固定する仕組みなので、サウンドに深みが出るようになっています

このドラムは、今から約30年前に東京渋谷のドラム専門店から声を掛けてもらって中古で購入したもので、アメリカのDW（ドラム・ワークショップ）社製です。「胴」の部分にタム・ホルダーなどの穴も空いておらず、「リムズ」という部品によって宙ぶり状態でタイコを叩けるので、大変気に入っています。なお、スタンドは日本の「タマ」というメーカーの製品です。

私は陸上自衛隊の音楽隊で打楽器演奏を仕事としていたので、DWの深いサウンドは、私の音楽人生の良きパートナーです。

(顔好 鈴木庄七)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？
懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。
総務課情報システム係 ☎(62)2187まで、ぜひお知らせください。

戸籍のまど

2月21日～3月20日受付分

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
市の沢	堀 燈矢 ^{とうや}	男	智春・三千代
荻野	高取 双葉 ^{ふたば}	女	真実・明日美

ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
(十八才 山形市)	大場 拓郎 渡邊 絵梨
(宮城県 小見)	藤原 功 伊藤 由稀
(塩野平 寒河江)	渡邊 大樹 芳賀 彩乃

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
蛸水	阿部さゆり	(54)
4区	白田 三郎	(82)
小見	新井 静夫	(75)
藤田	伊藤 せつ	(95)
木の沢	大沼二八子	(91)
藤田	松田 義孝	(86)
堂屋敷	阿部 房治	(87)
月が丘	白田 光好	(85)
美郷	佐竹勝太郎	(85)
望山	古城かつ子	(80)
13区	鈴木ミドリ	(87)
富沢	堀 昭男	(78)
9区	堀 きくよ	(92)



人口と世帯(前月比)

町の人口	8,539人(-28)
男	4,225人(-8)
女	4,314人(-20)
世帯数	2,933戸(+12)

平成29年4月1日現在

※掲載を希望しない場合は、
届け出の際にお申し出ください。